

平成29年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
50	恵那南高等学校

学校教育目標	社会の変化に対応し、主体的に生きていくための資質や能力を培い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな人間の育成を図る。	
< 教育指導の重点 > 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 総合学科の特性を生かし、生徒一人一人にとって魅力のある学校生活を目指します。	① 入学から3年次までを見通した指導計画を作成し、生徒一人一人が各自の進路目標を達成できるように、全職員で指導と支援を図ります。 ② 生徒の主体性や表現力の育成を重視した魅力ある学校行事や特別活動を推進します。	① 生徒は目標の進路に進むことができたか。 ② 学校行事や部活動などで、生徒は主体性をもって活動できたか。
2 基本的な生活習慣・生活態度の定着を学校生活全般において徹底します。	① 挨拶、言葉遣い、基本的なマナー、規範意識を登校時から学校生活のすべての場面において全職員で徹底するとともに、生徒理解に基づく支援を行います。 ② 外部講師による講座など「地域の歴史に学ぶ」機会を増やすことで、地域に根差した道徳について考えさせ、「恕の心」を育てます。	① 生徒、保護者、地域の反応・評価はどのようなものであったか。 ② 生徒は何を得ることができたか、意識の変化はあったか、生徒の感想から確認する。
3 地域や家庭及び小中学校や特別支援学校との交流と連携を強化し、12年間一貫した生徒理解、生徒支援を目指します。	① 広報活動をより活発にすることで、学校の魅力を家庭や地域に広く伝えることで、学校と家庭・地域社会との相互理解を図ります。 ② 地域施設を利用した学習や生徒・職員の地域行事へのボランティア参加等により地域との交流を図り、体験の幅を広げるよう支援します。 ③ 近隣の小中学校と連携し、授業や行事、学習活動において児童生徒、教員が交流し合うことで、新しい学びの場を創造します。 ④ 特別支援学校、中学校、高校間の連携を密にし、中高の情報交換を深めることで、適切な生徒理解と支援ができるようにします。	① 広報活動の結果、本校に対する理解はどの程度深まったか。 ② 生徒・職員はどれだけ地域と関わり、新たな発見をどれだけできたか。 ③ 12年間を通じた新しい学びの場が創造できたか。 ④ 6年間を通じたきめ細やかな生徒理解及び生徒支援により、どのような形で生徒の成長及び進路実現に結び付いたか。